

常吉村文書概要

1: 文書群番号	110041
2: 文書群名	常吉村文書
3: 出所	常吉村・園田村
4: 家業・役職等	
5: 地名	摂津国武庫郡常吉村／兵庫県武庫郡常吉村／武庫郡武庫村常吉／尼崎市常吉／尼崎市常吉1丁目ほか
6: 行政区分	幕府領／尼崎藩領／兵庫県第8区／常吉組戸長役場／武庫村／尼崎市
7: 歴史	<p>常吉村は、市域北西部、武庫川沿いに位置する。史料上の初見は文亀元年(1501)「檜葉近江守貞連申状」(賦草案之引付所収／室町幕府引付史料集成)で常吉名とある。北に隣接する常松と同じく名田の開発領主名に由来する地名と考えられる。</p> <p>村高は慶長10年(1605)に94石余、元禄15年(1702)に176石余、天保5年(1834)に215石余であった。近世を通じて尼崎藩と旗本佐藤氏の相給であり、佐藤氏知行所は14石余であった。南隣の西武庫村とその南に連続する守部村は全村が旗本佐藤氏知行所で西武庫村に陣屋が所在した。</p> <p>水利は、武庫井組に属した。氏神は須佐男神社(近世には牛頭天王社)、寺院は浄土真宗大谷派常願寺。</p> <p>明治22年(1889)以降は武庫村、昭和17年(1942)以降は尼崎市の大字となった。</p> <p>常吉から西武庫にかけて市域で最初の大規模団地である西武庫団地が建設され、昭和37年に入居を開始した。昭和40～平成元年の住居表示により、旧村域は常吉・武庫豊町となったほか、一部が武庫元町・武庫之荘・常松・武庫の里となった</p>
8: 伝来	平成22年(2010)12月、史料館が古書籍商より購入。平成26年4月、整理・目録作成作業が終了した。
9: 史料入手先	古書籍商
10: 点数	1,580点(目録件数1,491件)
11: 年代	慶長7年(1602)～明治
12: 構造と内容	<p>本文書群は常吉村に関する近世～明治期にかけての文書からなっている。また、園田村の近現代文書が一部含まれており、古書店が入手、販売する前後の過程で混入した可能性がある。</p> <p>(1) 土地関係・地租関係、(2) 人別送り状など戸籍関係、(3) 田地や金銭の金融関係、(4) 武庫川普請・水論関係などからなっている。</p> <p>慶長・元和年間の田地売渡し状など近世初頭の文書が残っていることが特徴的である。全体の文書に対して、1600年代が3%、1700年代が31%を占めている。</p>
13: 関連史料	常吉部落有文書、常吉部落有文書(2)、玉井喜平家文書
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	城戸八千代

※本文書目録を作成するにあたり、史料館のボランティアの方々にご協力いただきました。(作業期間:平成23年6月～平成24年9月)。